

## 付言

○東洋文庫研究部、日本研究班は、二〇一六年度から二〇一八年度の研究課題として『岩崎文庫貴重書書誌解題Ⅸ』を編纂した。本書「例言」にあるように、室町以前の物語草子類と、謡曲等芸能関係の資料が中心となっている。次の書誌解題からは、仮名草子を手始めとして、近世文学の領域に進んで行く予定である。

○東洋文庫はホーム・ページ上に所蔵資料の画像の公開を進めている。近年は当解題の編集作業を目的として撮影したカラー画像も、逐次公開している。併せてご利用いただきたい。

○日本研究班研究員、朽尾武先生が、昨年大晦日にご逝去なされたとの報が届いた。数年前、東洋文庫主催の市民講座で、『山海経』についてお話しくださったお姿を思い出す。謹んでご冥福を祈ります。

(二〇一九・三・五 深沢記)